

松阪安衛月報

6月号

松阪労働基準監督署
tel 0598-51-0015

全国安全週間準備期間（6月1日～6月30日）

安全は 急がず焦らず怠らず

全国安全週間は、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、昭和3年から一度も中断することなく続けられ、今年で95回目を迎えます。

全国安全週間（7月1日～7月7日）及び準備期間（6月）に実施する事項は、

①安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意思の統一および安全意識の高揚

②安全パトロールによる職場の総点検の実施

③安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布その他、ホームページ等を通じた自社の安全活動等の社会への発信

④労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学等の実施による家族の協力の呼びかけ等

となっており、急がず焦らず怠らずに、安全に作業を進めていきたいと思います。

実施要綱は

こちら↓



死亡災害ゼロ・アンダー

240松阪&多気

食料品製造業の

労働災害防止研修会

松阪労働基準

監督署の管内の

食料品製造業を

対象に、「食料品



製製造業における転倒、はさまれ・巻き込まれ災害の防止に関する研修会」を実施しました。

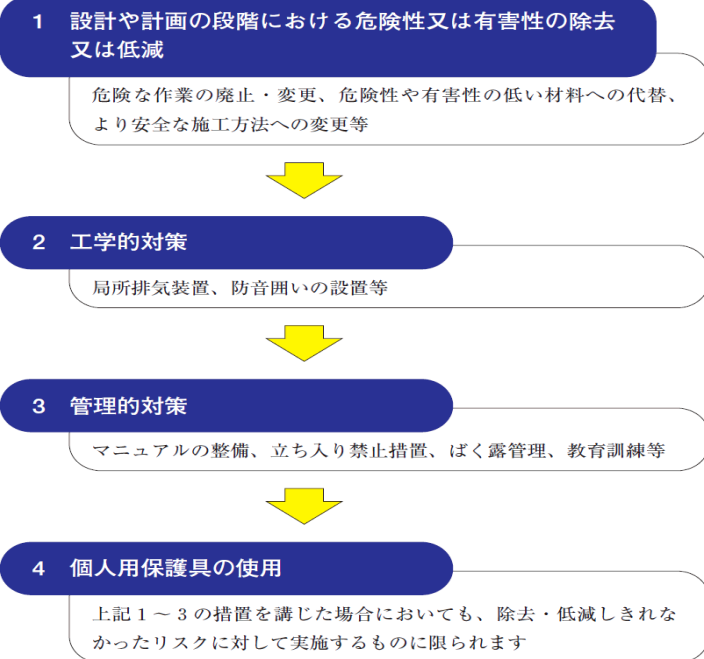
令和4年1月1日から同年4月30日までの食料品製造業における労働災害発生状況が昨年同期と比較して50%増加したことから、中央労働災害防止協会にご協力いただき、職場での危険箇所や使用する機械の安全化、作業手順の周知・把握について講義を行いました。

労働災害のリスク低減措置の優先順位は下欄の図のとおり、作業方法の変更等が行えない場合は機械の安全化を図ることが必要となっています。

機械の安全化の例としては、覆い、囲い等を設けることが必要と

なり、そのほか光線式安全装置やインターロック式安全装置の取付けによって、危険箇所に身体の一部が入らないようにするものがあります。安全装置の事例については左QRコードを参考にしてください。

転倒災害は典型的なパターンが「滑り」「つまずき」「踏み外し」の3つとなっています。転倒災害を防ぐためには、日頃から4S（整理・整頓・清掃・清潔）に取組むことが重要となっていますので、事業場内の4S取組み状況を確認するようにしましょう。



ロールボックスパレットによる災害が発生しています！！



5月末現在における休業4日以上の死傷者数は82人で、前年同期より2人(25%)増加しています。

業種別では、運輸交通貨物取扱業が10人で、前年同期より3人(23.1%)減少しましたが、社会福祉施設では11人で前年同期より3人(37.5%)増加しています。

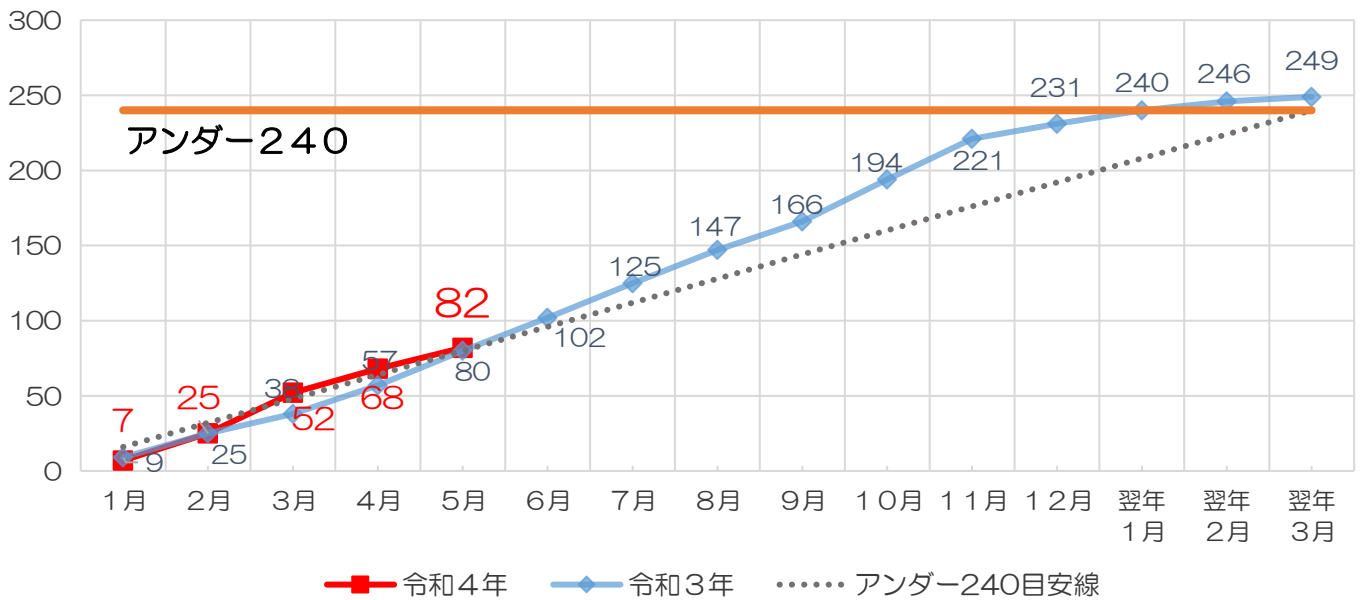
運輸交通貨物取扱業やスーパーマーケット等の小売業において、ロールボックスパレット(カゴ車)に激突された等の災害も発生しています。

ロールボックスパレットは、一度に多くの荷物を運ぶことが可能で、キャスターによって小回りが利くことから便利なものとなっていますが、傾きのある箇所(場所)では直進しづらく、コントロールすることが難しいため転倒することもあります。左のQRコードのチェックリストを参考にしながら、安全に作業を行いましょよう。

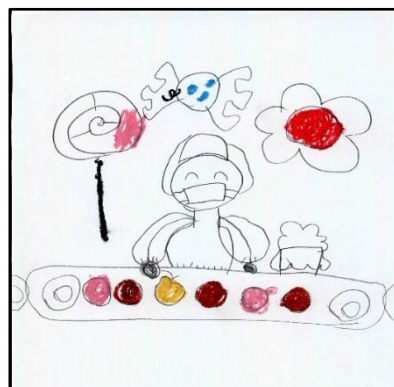
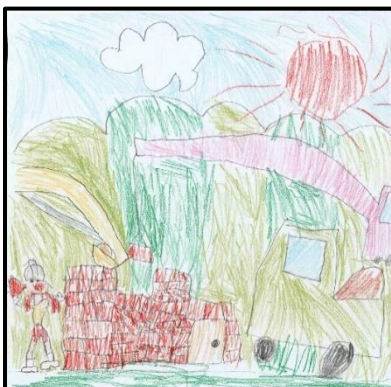


QRコードはこちら

松阪&多気 各月末日時点における労働災害発生状況



▶「見た人(はたらくひと)が今日もケガなく安全に働いて帰ろうと思えるイラスト」(共催：松阪労働基準協会、建設業労働災害防止協会三重県松阪分会、林業・木材製造業労働災害防止協会三重県支部松阪分会)を、松阪・多気の未就学児から、令和3年7月1日から9月10日まで募集し、多数のご応募をいただきました。松阪安衛月報では、令和4年1月号から順次、応募作品の一部を紹介しています。



労働災害防止関連の資料を三重労働局ホームページ「松阪労働基準監督署からのお知らせ」に公開しています。
<https://jsite.mhlw.go.jp/mie-roudoukyoku/kantoku/matsusaka02.html>



死亡災害ゼロ・アンダー240松阪&多気

